ツアー番号
LK4Y2P2CE6

海岸と丘陵のブレンド（7日間）

7日間・6泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

このセブンデーツアーは、スリランカの丘陵地帯と南海岸を結ぶもので、キャンディの文化的遺跡からヌワラエリヤ、ハプタレ、エラの紅茶栽培高地を経由して、ヤラ国立公園を通り、ビーチと旧港町ガレへと移動します。移動はプライベートビークルとシャフェール・ガイドで一貫して行われ、ナヌオヤからハプタレまでの景観の素晴らしい電車の乗車が含まれています。

途中、キャンディの聖歯寺院を訪問し、セイロンティーがどのように製造されるかを見るために稼働中の紅茶農園を歩き、丘陵地帯の滝と展望ポイントを楽しみ、リトルアダムスピークとエラ近くのナインアーチ橋へハイキングし、ヤラ国立公園でヒョウ、象、その他の野生動物を探してサファリに参加します。旅の後半は海岸に向かい、コッガラの足漕ぎ漁師、レカワのウミガメ孵化場、オランダ時代のガレ砦、アハンガマ近くのホワイトティー工場訪問があります。

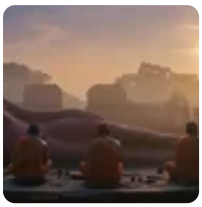
このルートは、涼しい丘の町から暖かい南海岸への雰囲気の変化を中心に構成されており、文化、景観、野生動物、海岸生活の混合を1回の旅の中で得られ、最終日に空港に戻ります。



日程詳細

1日目 空港 → キャンディ

コロンボ到着後、専属ショーファーガイドがお出迎えし、キャンディへ向かいます。午後はホテルにチェックインする前に、文化的な見どころを巡ります。



工芸品工房めぐり

宝石細工や木彫り、バティック染めといった工芸に関する工房を訪れます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



キャンディアン伝統舞踊ショー

太鼓の演奏に合わせて火の踊りや剣の踊りが披露される、1時間ほどの伝統的なキャンディアン舞踊と音楽のショーを鑑賞します。

Arian Zwegers · CC BY 2.0



ピンナワラ・エレファント・オーファナジー

ピンナワラは、自然の生息地を失った、あるいははぐれてしまった若い象たちが暮らす施設で、象たちと間近で触れ合うことができます。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

2日目 キャンディ → ヌワラエリヤ

この日はキャンディの中心的な宗教施設を訪れ、紅茶農園を見学した後、高原の町ヌワラエリヤへと向かいます。



仏歯寺（スリ・ダラダ・マーリガーワ）

このユネスコ世界遺産は、仏陀の聖なる歯の遺物を安置し守るために16世紀に建立されたもので、彩色された広間や彫刻が施された柱が見どころです。

A.Savin · FAL

紅茶工場と茶園

1824年に王立植物園で初めて茶の木が植えられ、その後1852年からジェームズ・テイラーによって商業的に発展していったセイロンティーの伝統的な生産工程を見学します。



ヌワラエリヤの町

19世紀から20世紀初頭にかけて英国人の主要な避暑地として栄えた町で、コテージや別荘、邸宅、古い赤レンガの郵便局が残り、ビクトリア女王公園やグレゴリー湖など、ゆったり過ごせるスポットもあります。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0



ランボダの滝

プッセラワ近郊にある、スリランカで11番目に高い滝で、中段部分はA5号線から見ることができ、上段部分へは橋近くの小道を登ってアクセスします。

A.Savin · FAL

3日目 ヌワラエリヤ → エラ

ハプタレーを経由してエラへと旅を続け、高原の展望スポットや植民地時代の建物、そして風光明媚な鉄道の旅を楽しみます。



リプトンズ・シート

スリランカで最もよく知られた展望スポットのひとつで、ウバ州、サバラガムワ州、中央州、東部州までを見渡すことができます。

Kapidis (talk). The original uploader was Kapidis at English Wikipedia. · CC BY-SA 3.0

アディシャム・バンガロー

1900年代初頭に建てられたチューダー様式の邸宅で、ハプタレー近郊の広大な敷地内に佇んでいます。

セント・アンドリュース教会

ネオゴシック様式の教会で、併設された墓地には多くの英国人紅茶プランターたちが眠っています。

ナヌオヤからハプタレーへの鉄道の旅

茶園や霧に包まれた村々、山岳の風景を眺めながら、ハプタレーへ向かう風光明媚な鉄道の旅です。

4日目 エラ → ヤラ

午前中はエラ周辺でハイキングを楽しみ、その後ヤラへ移動して午後はサファリに参加します。



リトル・アダムスピーク、ナインアーチ橋、デモダラ駅ハイキング

茶畑や岩場を抜けながら、リトル・アダムスピークからの眺めを楽しみ、ナインアーチ橋を歩いて渡り、ループ状の線路設計で知られるデモダラ駅を訪れるハイキングです。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ヤラ国立公園サファリ

スリランカ第二の広さを誇る国立公園での3時間のサファリで、ヒョウ、野生のスイギュウ、ナマケグマ、ゾウなど、数多くの野生動物に出会えるチャンスがあります。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0

5日目 ヤラ → アハンガマ

南海岸へと旅を続け、伝統的な漁法やウミガメの保護活動に触れます。



コガラのスティルト漁師

海岸沿いの杭の上に腰掛けて漁を行う漁師たちの姿を眺め、この伝統的な漁法がどのように生まれたかを学びます。夕日を背景にした撮影スポットとしても絶好です。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

レカワ・ウミガメ孵化場

スリランカの海岸に産卵に訪れる5種の絶滅危惧ウミガメについて学び、夜のウミガメ観察やふ化場でのボランティア活動に参加することもできます。

6日目 アハンガマ → ゴール → アハンガマ

ゴールへの日帰り旅行では植民地時代の要塞を訪れ、その後アハンガマに戻って紅茶工場を見学します。



ゴール砦

ポルトガルおよびオランダの統治下で築かれた、アジアで最も保存状態の良い要塞のひとつで、博物館や灯台、オランダ語の名が残る石畳の通りが見どころです。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0



ハンドゥヌゴダ紅茶工場

「ヴァージン・ホワイトティー工場」としても知られ、手で一切触れずに茶葉を摘み取り加工する様子を見学できます。見学後には紅茶とチョコレートケーキの試食が楽しめます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

7日目 アハンガマ → バンダラナイケ国際空港

朝食後、チェックアウトをして空港へ向かい、帰国便にご搭乗いただきます。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation and Meals.
- Entrance fees to the respective sites.
- Chauffeur Guide's Accommodation.
- Expenses of personal nature.
- Visa and Related Expenses.